



足場を組むための鉄パイプは1m約3kg、10本まとめて担ぐことも

多くの人が関わる建設現場、最重要な仕事は 安全な状態をつくり維持することです

どんなお仕事ですか？

建物の構造にもよりますが、何も無い所に骨組みとなる鉄骨や、PC(コンクリートの柱や梁を工場で製品化したもの)を現場で組み立てる作業が重要な仕事です。そして、もう1つ大事な仕事は、現場で働く人達が安全に作業できる「足場」を作り、維持管理すること。ですから責任の重さを感じつつ、「とび職あってこそ現場」との誇りをもって仕事にあたっています。

なぜこの仕事を選びましたか？

住宅よりも高層建築物に関心がありました。大きな建物は長い期間多くの人に利用されます。また地図に残る仕事をしたいという希望もありました。とび職は建物が完成した後、足場や仮囲いなど全てを取り除くまで現場に残ります。自分が手がけた建物の完成を見る時の充実感は格別です。これからもたくさん現場で仕事をしたいと思っています。

実際にこの仕事をしてみての感想は？

ちょっとしたミスが命に関わりますので、ルールは絶対守らねばなりません。そして安全を確保するためには、言われた仕事だけをこなすのではなく、様々な場面でその先の状態を意識し行動することが必要です。作業者同士のチームワークも求められ、誰一人として怪我無く仕事をこなすことを皆が肝に銘じています。体が資本なので、健康と体力作りには気を付けています。

どんな中学生でしたか？

野球が好きだったので野球部に入っていました。ポジションはキャッチャー、4番打者でした。2年生秋にブロック大会で準優勝したこともありました。野球ばかりで勉強はぜんぜん…特に英語と国語が大の苦手でした。将来の夢について考えたことはあまり無かったのですが、高校卒業後は建設業に就職したい希望をもっていたので、工業高校建築科を選択しました。



かとう しゅんいち
加藤 駿一 さん

プロフィール

宮城県仙台市生まれ。仙台市立東仙台中学校を経て、仙台市立仙台工業高等学校建築科に入学。建築物の基礎的な知識や技能を習得する。2009年に卒業し、東京にある建設会社に入社。とび職として仕事を始めて6年、現場で作業するための資格も数多く取得している。
勤務地/東京都を中心に関東一円



フルハーネス型安全帯は、高所作業時に使う命綱付きのベルトです。工具を取り付けると20kgになることも。



11

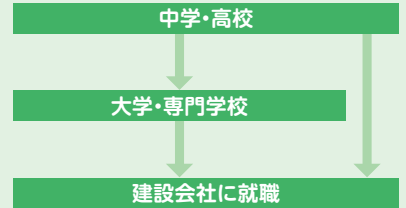
とび職人

加藤 駿一 さん

やりたいことは何でも思い切りやろう!

中学時代に野球や遊びに夢だった自分を思い出すことがあります。社会に出ると厳しいことがたくさんありますが、遊びから学んだこと、夢中に取り組んだことが支えになってくれています。野球部メンバーとの連係プレーは、今の仕事でも役立っています。勉強だけではなく、やりたいことは何でも思い切り取り組んで下さい。

この仕事に就くには?



中学卒業後に仕事に就く人もいます。高校は工業高校の建築科や土木科で学ぶ人が多いですが、普通科や商業科でも可能です。建設現場には多くの仕事がありますが、仕事に就いただけではもてできません。現場で技術を学び、資格を取得することで携われる仕事はあります。



12

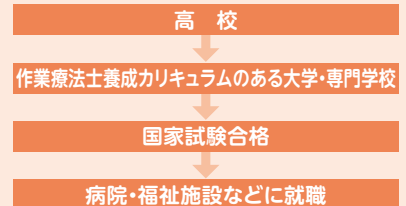
作業療法士

相原 彩香 さん

またたく間に流れていく時間、今を大切に

まずは今を大切に。そして自分が考えていることや興味を持った事は、誰かに伝え、そして行動してください。言葉にして行動すると、誰かが機会を与えてくれることもあります。何もしなければ瞬間に時間は過ぎ、時間と共にチャンスも通り過ぎているかもしれません。限られた時間を大切にしながら、果敢に行動して下さい。

この仕事に就くには?



作業療法士国家試験に合格するためには、養成カリキュラムのある大学や専門学校で学ぶ必要があります。病院以外にも社会福祉施設や行政、学校などが活躍の場となります。



13

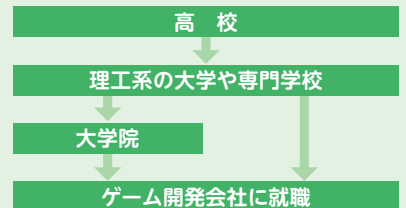
ゲームプログラマ

松田 一裕 さん

チーム力とはお互いの意見を理解し合うこと

チーム作業では、メンバーごとに違う意見や視点があるので、議論し考えをすり合わせて目的を共通化することが大切。そのためには自分の意見を言葉で伝え、さらに人の考えをよく聞き理解する力が必要です。友達大勢と何かをするとき、相手の立場に立ちたくさん議論してください。そこで身につけた力は将来必ず役立ちます。

この仕事に就くには?



技術系の資格は様々ありますが、プログラマは実務経験を積むことが大切で、就職に際して資格が重要視されることはまずありません。大学や専門学校で理工系の基礎知識やコンピュータの基本技術を身につけておくとうれしいです。また英文の技術資料を読むことが多いので、英語力も必要になります。



14

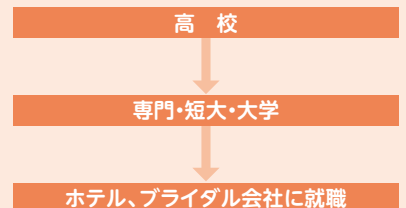
ウェディングプランナー

佐々木 るみ さん

自分が誇れるものを見つけてください。

人の価値観は必ずしも同じではないので、出会いには価値があると思います。友人やお世話になった方々、ご両親がいて、今の自分がいます。まわりの人とのつながりを大切にしてください。その存在が年齢を重ねても自分を支えてくれます。小さい目標でもひとつひとつ努力をすることを忘れずにいてほしいと願っています。

この仕事に就くには?



ウェディングプランナーになるために必ず必要な資格は特にはありません。しかしウェディングプランナーを目指す人が増えているため、就職も狭き門となっています。専門学校でブライダルの専門知識を勉強した人は就職に有利に働くこともあります。



15

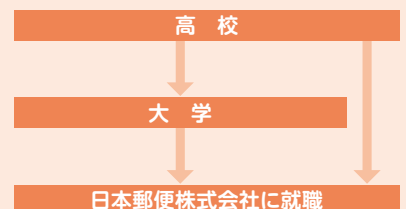
郵便局員 (配達)

伊藤 千佳 さん

誰かのために何かをする喜びを感じてほしい

まずは誰かのため、何かに挑戦してみてください。そして自分自身が何に「喜び」や「やりがい」を感じるのか発見してください。やりがいを感じることで、その先の挑戦も自然と頑張れます。そして、友達や先生、先輩後輩との思い出も人生の支えになります。中学校生活の楽しい思い出をたくさん作ってくださいね。

この仕事に就くには?



配達員は、自動車免許や自動二輪(小型以上)の免許が必要ですが、入社後でも取得できます。基本的に体を動かす仕事ですので、体力が必要です。また、お客様に郵便商品などをお勧めする仕事もあります。